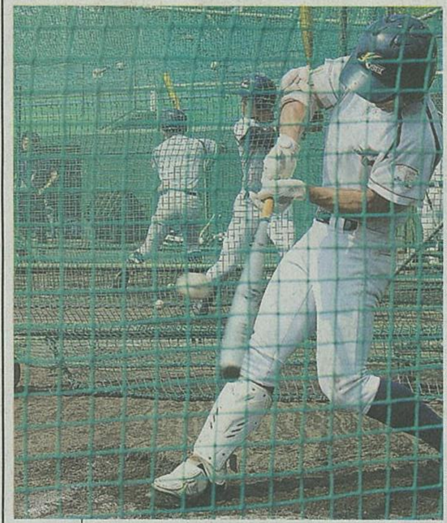
２０１９年（令和元年）８月１８日　日曜日
東奥日報　１１面　掲載

第101回 全国高校野球選手権大会

光星４強へ「タフな試合」

きょう激突

明石商（兵庫）際立つ粘り強さ


準々決勝に向け、打撃練習に励む八学光星ナイン＝17日、兵庫県西宮市

全国高校野球選手権で5年ぶりの8強進出を決めた本県代表の八学光星は、18日午前8時開始予定の準々決勝第1試合で明石商（兵庫）と激突する。明石商は春の選抜大会で4強入りした強豪。同校にとって光星は、昨夏の甲子園初戦で苦杯をなめた因縁の相手だ。光星の仲井監督は17日、「隙を見せれば一方的な展開になる。タフな試合になる」と語った。

光星は今大会3試合で43安打26得点と4割近いチーム打率を記録。17日に兵庫県西宮市のグラウンドで行った打撃練習でも快音を響かせていた。

3番近藤は12打数7安打2本塁打と打線をけん引。主将武岡も攻守でめざましい活躍を見せる。下山（弘前四中出）は初戦の先制満塁本塁打、2回戦の同点適時打、3回戦のサヨナラ安打と圧巻のラッキーボーイぶりをみせている。

投手陣はエース山田、初戦先発の後藤、チーム唯一の左腕横山、高身長が武器の渡邊の4投手が登板した。2、3回戦は継投した山田の粘投で危機をしのいだ。野手との「二刀流」下山も登板機会をうかがう。

対する明石商は、初戦の花咲徳栄（埼玉）に逆転勝ち。2戦目の宇部鴻城（山口）戦では延長十回にスクイズでサヨナラ勝ちするなど粘り強さが際立つ。

2戦目で本塁打を放った主将重宮、4番安藤らが打線の核。プロ注目の2年生右腕中森は150キロ近い速球を武器に初戦を完投。左腕杉戸も3回戦で、延長10回を1人で投げ抜いた。

（吉田希望、大久保拓地）

光星、明石商の今大会成績（光星3戦分、明石商2戦分）

	【八学光星】	打	安	点	振	球	打率
⑥	武岡③	15	6	3	3	2	.400
⑧	島袋③	11	4	1	2	4	.364
③	近藤③	12	7	7	2	3	.583
⑨	原③	12	3	1	4	3	.250
⑦	大江③	11	4	2	2	3	.364
⑤	下山③	14	5	7	1	0	.357
④	伊藤③	14	3	0	1	0	.214
②	太山③	9	5	2	1	3	.556
①	横山③	3	2	1	0	0	.667
	後藤③	0	0	0	0	1	.000
	澤波③	1	1	2	0	0	1.00
	山田③	6	3	0	1	0	.500
	渡邊③	2	0	0	2	0	.000

犠	盗	失	併	残	打	安	点	振	球	打率
10	4	4	2	34	110	43	26	19	19	.390

投手	回	打	安	振	球	責	防御率
横山	7⅓	38	7	8	8	7	8.59
渡邊	3⅓	14	3	0	3	2	5.40
山田	11⅓	51	9	13	7	1	0.79
後藤	5	17	1	3	0	0	0.00

※出場選手のみの成績。守備、打順は3回戦の先発

	【明石商】	打	安	点	振	球	打率
⑧	来田②	9	3	0	1	0	.333
②	水上③	6	2	2	1	2	.333
⑤	重宮③	7	4	2	0	1	.571
⑨	安藤③	9	3	0	1	0	.333
③	宮崎③	4	2	0	0	0	.500
⑦	福井②	5	3	0	2	1	.600
④	清水③	6	0	1	0	2	.000
⑥	河野③	8	3	2	0	1	.375
①	杉戸③	3	1	0	0	1	.333
	岡田③	5	0	0	2	0	.000
	中森②	3	0	0	1	0	.000
	窪田③	0	0	0	0	0	.000

犠	盗	失	併	残	打	安	点	振	球	打率
6	3	2	0	20	65	21	7	8	8	.323

投手	回	打	安	振	球	責	防御率
杉戸	10	40	10	7	1	2	1.80
中森	9	36	6	6	3	3	3.00

※出場選手のみの成績。守備、打順は3回戦の先発

東奥日報社提供
この画像は当該ページに限って東奥日報社が利用を許諾したものです